

平成 22 年 8 月 10 日

各 位

東京都港区虎ノ門四丁目 1 番 28 号  
虎ノ門タワーズオフィス  
フィンテック グローバル株式会社  
代表取締役社長 玉井 信光  
(コード番号：8789 東証マザーズ)  
問合せ先：取締役 執行役員 財務部長兼事業統括部長  
鷲本 晴吾  
電話番号：(03) 5733-2121

### 業績予想の修正に関するお知らせ

この度、当社において、平成 21 年 11 月 13 日に発表しました平成 22 年 9 月期（平成 21 年 10 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日）通期の連結業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 平成22年 9 月期通期連結業績予想数値の修正（平成21年10月 1 日～平成22年 9 月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	5,500	500	450	400	331.09
今回修正予想 (B)	3,400	△2,410	△2,500	△2,150	△1,779.60
増減額 (B-A)	△2,100	△2,910	△2,950	△2,550	—
増減率 (%)	△38.2	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (21 年 9 月期)	10,385	△20,321	△21,197	△12,091	△10,008.43

#### 2. 修正の理由

売上高については、投資銀行事業において不動産向けの債権回収関連の大型プロジェクトを当期中にクロージングすることが難しいと判断し、本プロジェクトにかかる予想売上高を当期予想売上高から減額しております。本プロジェクトの成否が当期業績に与える影響が大きいため、当期はその進捗の見極めを慎重にして参りましたが、現段階においてクロージングまでには相応の時間を要する可能性もあることから、本プロジェクト売上は当期業績予想から除外しました。

営業の進捗については、企業再生分野においては、再生案件において2社のスポンサーとしての内定を獲得しております。また不動産企業分野においては、当社グループの財務ソリューション（エクイティファイナンス、アセットファイナンス等）に対する財務的問題を抱える企業群の潜在的な需要は増大しており、クライアント数も順調に増加しております。また、国内外投資家からの資金導引についても、不動産市況の底入れ感により投資家の投資意欲は以前にも増して高まってきており、各投資家のニーズにあった投資機会の提供を推進する環境は整いつつあります。しかしながら、不動産市況が長期低迷を続ける中で、クライアントの事情により案件の着手からクロージングまで時間を要するケースが多くなってきていること、また各案件を加速させるために重要となる当社の自己投融資資金を債権回収資金や投資家からの借入などにより調達しておりますが、その絶対額が不足していることにより、当初業績予想において見込んでおりました案件数を実行するまでには至っておりません。

これらの要因により、通期の売上高は3,400百万円となる見込みであり、当初予想値に対し減少する見込みとなりました。

営業損益については、上記に記載の大型プロジェクトにおける売上が計上できなかったことが主な減益の要因であります。また、販売費及び一般管理費については、前連結会計年度より固定費の圧縮を進め当連結会計年度においても四半期毎に減少させており一定の削減効果を出しているものの、貸倒引当金繰入等の計上があったことにより、営業損失は2,410百万円となる見込みであり、経常損失は2,500百万円となる見込みであります。

特別損益については、第3四半期連結累計期間に特別利益として新株予約権付社債償還益329百万円などにより411百万円を計上しており、また本日、新株予約権付社債の消却を決議したことにより、本決算でさらに119百万円を追加計上する見込みであります。特別損失としては第3四半期連結累計期間に係る会社整理損291百万円などにより320百万円を計上しております。このため、当期純損失は2,150百万円となる見込みであります。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により、上記予想数値とは異なる可能性があります。

以 上